

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 マキヤ

コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務部長 (氏名) 矢部 利久

TEL 0545-36-1000

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	15,374	△4.5	105	△57.4	131	△58.8	101	△44.2
21年3月期第1四半期	16,093	△4.0	247	△11.3	318	0.9	181	13.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	10.14	—
21年3月期第1四半期	17.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第1四半期	29,111		11,619		39.9	1,163.80
21年3月期	29,179		11,545		39.6	1,156.42

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,619百万円 21年3月期 11,545百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		7.50	—	7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	31,300	△3.2	300	△46.9	400	△39.1	240	△9.6	23.54
通期	65,000	1.2	800	△26.8	1,070	△14.8	600	59.7	58.85

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	10,540,200株	21年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	556,342株	21年3月期	556,342株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	9,983,858株	21年3月期第1四半期	10,213,884株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想は平成21年5月12日発表の連結業績予想と変更ありません。

2. 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部の製造業において減産の動きに下げ止まりの兆しが見られるものの、依然として前連結会計年度に発生した世界的な金融不安により、非常に厳しい状況が続いております。

当小売業界におきましては、雇用・所得を取り巻く状況が厳しさを増す中、個人消費は先行き不透明感から買い控えが進み、消費マインドは大きく低迷いたしました。

このような状況の中、当社グループは2店舗の閉店をいたしました。

平成19年3月に新規事業として取り組みを開始した健康スパ事業「メディックスパ」沼津御成橋店を、昨今の厳しい経済状況もあり平成21年4月に閉店し、業務スーパーの1号店であります業務スーパー長泉店を他店舗とのエリアの兼ね合いから閉店いたしました。

当第1四半期連結会計期間の売上高は153億7千4百万円（前年同期比4.5%減）となりました。総合ディスカウント店「エスポット」及び業務用食料品販売店「業務スーパー」等は、堅調に推移いたしました。食品スーパー「ポテト」は経済環境の悪化による個人消費の落ち込みに加え、競争環境がますます激化し売上高は苦戦を強いられる結果となりました。

利益面につきましては、熾烈な価格競争が繰り広げられる消耗戦の中、適正な粗利益率を確保するのが厳しい状況が続いております。

粗利益率に合わせて、経費のコントロールに努めて参りましたが、粗利益額の減少全てを吸収することはできませんでした。

この結果、営業利益は1億5百万円（前年同期比57.4%減）、経常利益は1億3千1百万円（前年同期比58.8%減）、四半期純利益につきましては1億1百万円（前年同期比44.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は291億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比較して6千8百万円減少いたしました。

流動資産は、67億1千7百万円と前連結会計年度末に比較して8千万円増加いたしました。

固定資産につきましては、遊休土地の売却等によりまして有形固定資産が1億9千9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較し、1億4千8百万円の減少の223億9千3百万円となりました。

また、負債につきましては、土地の売却により長期借入金が4億2千4百万円減少したこと等によりまして、1億4千2百万円減少の174億9千2百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比較して、7千3百万円増加の116億1千9百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して6百万円増加し、8億4千1百万円となりました。

当四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益は2億3千5百万円、減価償却費2億8百万円等により、たな卸資産の増加額6千4百万円、法人税等の支払額6千5百万円等があったものの、3億8千7百万円の収入となりました。

た。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の売却による収入7億7千7百万円、敷金保証金の返還による収入5千3百万円等により、有形固定資産の取得による支出5億7千8百万円等があったものの、2億3千万円の収入になりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少額6千万円、長期借入金の返済による支出4億4千9百万円、配当金の支払額7千4百万円等により、6億1千万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想は、平成21年5月12日の公表数値から変更いたしておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連携会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	841,300	834,692
売掛金	380,508	344,682
商品	5,028,961	4,972,814
その他	467,346	485,341
貸倒引当金	△370	△385
流動資産合計	6,717,745	6,637,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,076,615	8,191,041
土地	7,976,545	8,617,129
その他(純額)	853,103	297,893
有形固定資産合計	16,906,264	17,106,063
無形固定資産		
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,166,297	3,213,299
その他	1,154,821	1,154,596
貸倒引当金	△6,377	△6,380
投資その他の資産合計	4,314,741	4,361,515
固定資産合計	22,393,833	22,542,829
資産合計	29,111,578	29,179,974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,952,962	4,886,266
短期借入金	4,204,917	4,289,917
未払法人税等	115,347	71,339
賞与引当金	132,353	107,091
ポイント引当金	99,503	97,240
その他	1,723,359	1,551,760
流動負債合計	11,228,444	11,003,615
固定負債		
社債	710,000	710,000
長期借入金	4,034,668	4,459,647
退職給付引当金	615,818	624,908
役員退職慰労引当金	41,649	40,009
その他	861,743	796,229
固定負債合計	6,263,879	6,630,794
負債合計	17,492,323	17,634,409

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	9,651,564	9,625,169
自己株式	△446,013	△446,013
株主資本合計	11,487,498	11,461,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	131,756	84,461
評価・換算差額等合計	131,756	84,461
純資産合計	11,619,254	11,545,564
負債純資産合計	29,111,578	29,179,974

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	16,093,733	15,374,297
売上原価	12,564,206	12,185,059
売上総利益	3,529,527	3,189,237
販売費及び一般管理費	3,281,929	3,083,727
営業利益	247,597	105,510
営業外収益		
受取利息	2,242	1,436
受取配当金	6,480	5,909
受取家賃	62,258	57,078
その他	64,177	25,580
営業外収益合計	135,159	90,004
営業外費用		
支払利息	37,355	37,280
不動産賃貸費用	15,329	15,544
その他	11,659	11,470
営業外費用合計	64,344	64,294
経常利益	318,412	131,220
特別利益		
有形固定資産売却益	—	166,502
特別利益合計	—	166,502
特別損失		
減損損失	—	62,605
特別損失合計	—	62,605
税金等調整前四半期純利益	318,412	235,117
法人税、住民税及び事業税	14,524	109,081
法人税等調整額	122,548	24,762
法人税等合計	137,073	133,843
四半期純利益	181,338	101,273

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	318,412	235,117
減価償却費	207,316	208,509
減損損失	—	62,605
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,048	△17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,228	25,262
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,288	2,263
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△68,395	△9,089
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,340	1,640
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,468	△5,579
受取利息及び受取配当金	△8,723	△7,346
支払利息	37,355	37,280
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△166,502
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,119	△35,825
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△28,327	△64,606
仕入債務の増減額 (△は減少)	△130,852	66,695
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,022	50,706
その他	△239,164	81,552
小計	14,459	482,664
利息及び配当金の受取額	8,723	7,346
利息の支払額	△34,555	△37,635
法人税等の支払額	△253,814	△65,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	△265,187	387,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△711,192	△578,949
有形固定資産の売却による収入	37,000	777,302
有形固定資産の除却による支出	—	△20,760
貸付金の回収による収入	2,725	2,500
敷金及び保証金の差入による支出	△18,551	△6,386
敷金及び保証金の回収による収入	130,666	53,387
その他	△12,038	3,677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△571,390	230,772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	265,000	△60,000
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△571,412	△449,979
リース債務の返済による支出	—	△26,007
自己株式の取得による支出	△8,920	—
配当金の支払額	△76,679	△74,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	807,988	△610,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,590	6,608
現金及び現金同等物の期首残高	929,436	834,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	900,846	841,300

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

小売事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当連結グループは、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当連結グループは、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。